

# 諏訪地方の経済概況速報

平成26年4月

(平成26年3月末調査)

平成26年4月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫  
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 2月】	諏訪公共職業安定所管内	0.96 倍	0.20 ポイント	
手形交換高【 3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	6,154 枚	772 枚	
	金 額	7,301 百万円	1,495 百万円	
	うち不渡り	枚 数	0 枚	△11 枚
	発生状況	金 額	0 千円	△2,340 千円
電力使用量【 3月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	69,816 MWh	3.6 %	
	高圧電力計	102,243 MWh	9.2 %	
	合 計	172,059 MWh	6.8 %	
車庫証明取扱件数【 3月】(諏訪地方合計)		1,616 件	9.6 %	
新設住宅着工戸数【H25.4月～26.2月】(諏訪管内)		1,297 戸	25.8 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

諏訪地方の3月は、様々な方面で消費増税前の駆け込み状況があった。卒業シーズンや新生活需要の時期でもあり、特に月末は家電量販店や食品スーパー、ホームセンターなどが買い物客で混雑し、大型消費財から消耗品まで売上を伸ばした。ガソリンスタンドでは車が列を作った。駆け込み需要を狙った新聞広告や折込みチラシも多く、取り扱い量は前年同期比大幅増となった。製造業でも受注量が増加した企業が多い。ただ、受注ペースが鈍化したり、建設業では工程別に繁忙感が違って来るなどの動きもあり、4月以降の不透明感も漂っている。

### ●製造業 「全体的に受注量増加の動き」

自動車部品などの輸送用機械関連は、概ね堅調に推移しているが、駆け込み需要が一段落し、先行の不透明感が増してきたとする企業も出ている。増税直後の急な落ち込みは少ないと見られるが、世界情勢の不安定さもあり、3ヶ月後の予想が計りきれない企業が多い。金属部品加工は、新規需要を確保し、各取引先からの受注が増加したとする企業が多くなっている。工作機械や専用機は、新機種製造に伴う産業ロボットの受注が好調で、全体的には徐々に受注量が回復してきている。設備投資への見方は「意欲が低い」と、「動き始めた」とに分かれている。半導体関連の受注状況は総体的に改善傾向が続いている。電気機械も取引先によって差はあるが、受注量が回復した企業が増えている。精密機械はレンズ加工が取引先によって受注状況に大きな格差が出ている。圧力計の受注は好調に推移している。

### ●商 業 「増税、新生活などで駆け込み顕著」

増税を前に、幅広い商品の駆け込み購入があり、衣料品や家電、住居関連の消費財が伸びた。また、消費期間が短い日用品は、月末に駆け込みが集中し、食材などを多く買い込む動きが見られ

た。自動車販売は、諏訪地方の3月の車庫証明件数(軽自動車除く)が1,616件と、前年同月比で141件増加(9.6%)した。例年、3月は件数が多いが、今年は駆け込み需要で特に多かった。平成25年度全体では、前年のエコカー補助金の影響を受けていた9月までは前年同月比で減少していたが、10月以降は6ヶ月連続で増加し、年度合計件数も12,045件と、前年度合計比で157件、1.3%の増加となった。

### ●観光・サービス業 「春休みの入り込み好調」

上諏訪温泉の3月の宿泊人数は、前半は低調だったが、三連休以降の春休みの入り込みが順調だった。諏訪湖温泉協同組合の集計では3月の宿泊人数が4年ぶりに3万人を超えた。集客の主流となる関東方面だけでなく、関西方面の営業に注力した施設が、成果を上げる傾向となっている。海外からの旅行客に対しては、個人手配の集客に力を入れる傾向も出ている。前月に大雪の影響を受けた諏訪地方のスキー場は月初と月末を除き、天候に恵まれた週末を中心に好調だった所が多い。特に、富士見方面は総体的に好調な年度となった。諏訪大社の3月の参拝者数は、昨年よりやや減少した。

### ●建設業 「新設住宅着工戸数の伸びが鈍化。今後の受注が課題」

市町村の3月の発注工事は、合計16件189百万円となった。大型事業があった前年同月に比べ、件数は22件、契約金額は2,955百万円減少した。また、県関係の3月の公共工事(地元業者受注分)は9件、475百万円だった。平成25年4月～平成26年3月の1年間は169件5,801百万円で、前年同期累計比で件数は35件減少したが、契約金額は1,804百万円(45.1%)増加した。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数が72戸で、前年同月比2戸の減少(△2.7%)となり、伸びが鈍化しているが、平成25年4月～平成26年2月の累計は1,297戸で、前年同期累計比で266戸、25.8%の増加となっている。建設工程別に繁忙感に差が出る傾向があり、4月以降の受注が課題となっている。

### ●雇用 「求人意欲は高く、非正規が多い傾向」

諏訪地域の2月の有効求人倍率は、前年同月を0.20ポイント上回り、前月より0.01ポイント下回る0.96倍となった。長野県は1.01倍、全国は1.05倍となっている。諏訪地方はなかなか1倍台に到達しないものの、前年同月比では9ヶ月連続上回っている。新規求人(全数)は1,490人で前年同月比128人増加(9.4%)した。要因別では前月から「欠員補充」「業務量増大」が増加し、「継続する人員不足」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、建設業で63.6%、その他サービス業で46.2%増加したが、運輸業で21.3%減少した。企業の求人意欲は高いが、大口は非正規が多い傾向となっている。新規求職者数は987人で、前年同月比137人減少(△12.2%)した。1件10人以上の人員整理は1件15人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は43人で、前年同月比11人、前月比も11人それぞれ減少した。新聞などの人材募集広告は前年同時期に比べ、大幅に増加している。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板 プリンター	市場は縮小傾向だが、セラミックスを主体に好調な企業がある。 昨秋ごろから増加していた所はピークを越えた感触がある。インク関係に動きがあり、サーマルプリンターはコンビニの出店で受注増の所がある。
コンタクター・ リレー	都市圏の受注が好調で海外向けも徐々に増加している。増税による売上への影響は少ないと見られる。

### 2. 輸送用機械

自動車	自動車部品関連は好調を維持する企業の一方で、駆け込み需要が一服し、受注状況が落ち着いてきた所が出ている。4、5月の見通しはあっても3ヶ月先ぐらいからの不透明感を持つ企業もある。コストダウン要請は続き、利益確保が難しい面もある。
船外機	北米向け4ストロークエンジンは安定。欧州向けは低調。新興国向け2サイクルエンジンは減少傾向となっている。
その他	二輪部品や航空機部品は比較的堅調な企業が多い。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	設備投資関連の動きは評価が分かれるが、分野によっては消費税絡みではなく、新機種の立ち上げでロボット関連の受注が増加し、繁忙になっている。半導体装置部品も回復傾向の所が増えている。
搬送用機械	増税関連の前倒し受注があり、堅調に推移している。今後も同様に推移する見方が多い。
金型 ダイカスト	総体的に横這い。車載部品関連には動きがある。 取引先によって差はあるものの、全体的に回復傾向となっている。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの2月の生産台数は約290万台。前月比1.7%減少、前年同月比では33.0%の減少となった。2月の出荷台数は国内出荷約64万台、海外出荷約230万台の合計約293万台となり、前月比0.4%減少、前年同月比は31.1%減少となっている。海外生産が主流となり国内は減少し、取引先によって受注状況に格差がある。車載用カメラは堅調。
レンズ	レンズ加工業界全体の受注量は伸び悩むが、工程が多く、高い難度が求められる物の受注は多い。業界淘汰が進んでいることもあって急な受注や見積もりが立て込み、納期遅れが出た所もある。

## 5. 繊維

ニット

高級品の受注増が続き、海外との競合はさらに激化している。

## 6. 食品

寒天

駆け込み需要が多く、個人、問屋からの受注も堅調。首都圏のスーパーの売上も伸びている。

味噌

業界全体では低減傾向で、仕入れ価格高の課題が続く。

## 7. 製材

諏訪地方の2月の木造新設住宅着工戸数は65戸で、前年同月比3戸減少した。外材の高値が続いている。

## 8. 建設

公共工事

3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所6件、林道治山工事関係2件、諏訪清陵高付属中学校関連で施設課関係1件の合計9件で、契約金額は475百万円だった。平成25年4月～平成26年3月の累計では169件、5,801百万円となり、前年同期累計比では件数で35件減少、契約金額では1,804百万円の増(45.1%)となっている。

市町村の3月の発注工事は、建築工事2件3百万円、土木工事及び下水道工事12件183百万円、その他工事2件3百万円の合計16件189百万円となった。茅野市の宮川保育園建設、岡谷市の美術考古館整備、下諏訪の南小改築などがあった前年同月比では減少した。アベノミクス効果が一服し、入札工事の落札状況によって今後の工事量に格差が出ており、全体的に小規模工事が多くなっている。

民間工事

諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は72戸で、前年同月比で2戸の減少(△2.7%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は3戸増の41戸、「貸家」は2戸減少の24戸、「分譲」は4戸減少の6戸となった。平成25年4月～平成26年2月の累計は1,297戸で、前年同期累計比266戸、25.8%の増加となった。

着工ベースで減少傾向となり、駆け込み需要は一服感がある。建設工程別に見ると、前工程となる基礎工事は2月末に減少し、中工程の大工も3月中に減少する傾向となり、後工程の内装などはしばらく忙しい見込みなど、工程によって仕事量に格差が見られるようになっている。4月以降の受注が課題となっている。

長野県内の2月の新設住宅着工戸数は762戸で、前年同月比7.6%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が451戸で2.0%増加、「貸家」は239戸で10.1%増加、「分譲」は68戸で58.8%減少となった。

## 9. 商業

衣料	卒業式や入学式用のフォーマルウェアやスーツをはじめ、紳士服、婦人服とも売上を伸ばした。
食料品	3 月後半から駆け込みが顕著になり、米や調味料等など保存がきく商品を大量に買う消費者が多く、客単価が上がった。
家電製品	冷蔵庫や洗濯機などの駆け込み購入が急増。メーカーに在庫がなく、4 月以降の販売となるものもあった。太陽光関連はパネルが間に合わず、設置工事が遅れるケースもあった。
自動車	県内の 3 月の新車新規登録台数は登録車が 7 ヶ月連続、軽自動車は 9 ヶ月連続で増加している。全体では前年同月比 2,578 台増加(16.1%)の 18,564 台で、7 ヶ月連続増加している。
ホームセンター	日用消耗品のまとめ買いに加え、新生活用品、白物家電、照明器具、自転車などの売れ行きが良かった。低温で園芸用品は伸びないものの、暖房器具が好調だった。

## 10. 観光

上諏訪温泉	3 月の施設ごとの宿泊者数は、前年同月比では 80%台～120%台の所が多い。高遠の桜の開花に合わせた予約も順調な状況となっている。
蓼科・白樺湖・ 車山等	スキー場は 2 月に大雪の影響があったものの、シーズンを通しては概ね好調だった。
下諏訪温泉	宿泊、宴会部門とも 2 月の大雪が予約に響き、減少傾向だった。
諏訪大社	上社・下社合わせた 3 月の参拝者数は約 3 万 7 千人で、前年同月比では約 1.8 千人の減少(△4.7%)となった。

### ● 企業からのコメント

- ・ 久しぶりに最盛期を思わせる活況となった。総体的に各取引先の受注は安定。休んでいた取引先も動き出し、見積もりも増えた(金属製品製造業)
- ・ 通常の 2 倍の受注があり短納期のため、人材派遣の増加や残業で対応している(一般機械製造業)
- ・ 消費税対策で在庫を多めに持つ取引先各社の動きがあり、4、5 月ごろは受注が落ち込む見込み。増税の影響があるのか、はっきりしない(輸送用機械関連製造業)
- ・ 3 月は突出して好調で、商品がほぼまんべんなく売れ、年末より売れ行きが良かった(小売業)
- ・ アベノミクス効果が一服し、工事の小口化が顕著になってきた(建設業)
- ・ 増税前の駆け込み購入に金を使い、外食を控える動きがあった(飲食店)
- ・ 前倒した五月人形の売れ行きが良かった(小売店)